

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月29日

計画の名称	大阪市下水道・河川総合整備計画〔第2期〕その2												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	大阪市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心で快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造するとともに、循環型社会に貢献する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,939	A	2,939	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R3末)
1	流域別下水道整備総合計画対応のための窒素除去施設整備率を48%(H29当初)から51%(R3末)に向上させる。 流域別下水道整備総合計画対応のための窒素除去施設整備率 施設整備により削減される窒素量/目標窒素削減量(4.21t/日)	48%	%	51%
2	計画期間内におけるPPP/PFIの事業手法による民間活力を活用する下水道事業の実施件数を1件(H29当初)から6件(R3末)に増加させる。 PPP/PFIの事業手法による民間活力を活用する下水道事業の実施件数	1件	件	6件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大阪市	直接	市	終末処 理場	改築	市内(12処理区)下水処 理場施設 (改築更新)	海老江下水処理場水処理施設 整備 他5件	大阪市						2,939		策定済
大阪市下水道長寿命化計画(処理施設)、大阪市下水道ストックマネジメント計画																			
											小計						2,939		
											合計						2,939		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31		
配分額 (a)	90	1,060	0		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	90	1,060	0		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	90	1,060	0		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面1) 社会資本総合整備計画

令和元年



